

# デジタル温度計 + 内部測定用センサ + 表面測定用センサ アスファルト舗装時の温度測定

近年、土木建築業界では品質・耐久性向上のため、道路工事の際に温度管理が必要とされています。国土交通省の「土木工事共通仕様書」品質管理基準によると、アスファルト舗装では、加熱アスファルトを敷均した時の温度が **110℃以上** であるかどうかを温度計で計測しなければならないと定められています。また、「アスファルト舗装要項」では、初期轍掘れを防止するため、アスファルト舗装舗設後、**表面が 50℃以下に冷えてから交通車両を通す**よう記載されています。

当社のデジタルハンディ温度計 MC1000-000 は大形液晶画面を搭載しており、数値がはっきり見えるように設計されています。バックライト付きで、薄暗い日の作業でも安心してご使用いただけますので、アスファルト温度測定に最適です。

アスファルト舗装の手順



## 敷均し温度

加熱アスファルト安定処理混合物を敷均した時の混合物の温度は **110℃以上**、また1層の仕上がり厚さは10cm以下となるよう施工します。



## 見やすい！大きな表示



敷均した後(締固める前)に  
温度センサを路面に刺して計測します。

写真撮影しても数字がくっきり！

## 交通開放温度

舗装完了後、表面温度センサで路面温度が **50℃以下** になったことを確認してから、片側交互通行などの交通規制を解除します。

## 誰でもわかる簡単操作



センサの先を軽く押し付けるだけで、簡単に路面温度が測定できます。

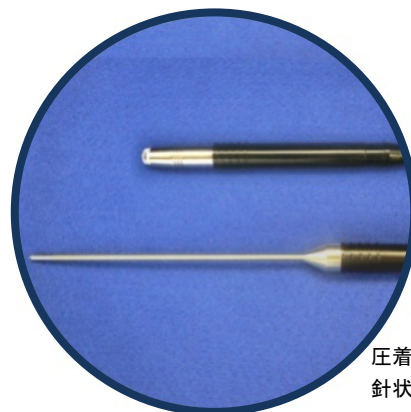


(取材協力：鹿島道路株式会社 様)

見やすい！使いやすい！

## 路面温度測定に最適な温度計

デジタルハンディ温度計 MC1000 は、各種用途に合わせて、豊富な温度センサをご用意しております。  
例えば、加熱アスファルト敷均し時の温度測定には針状形温度センサを、舗装完了後に路面温度が低下したかどうかを確認するには圧着形温度センサと、目的に合わせてセンサをお選び頂けます。  
また、センサと本体はコネクタ接続で、交換などが簡単に行えます。

デジタルハンディ温度計  
MC1000-000圧着形 YC510-01K  
針状形 YC520-11K

## 本体仕様

入力点数	1点
入力種類	マルチレンジ 熱電対: K、T 測温抵抗体: Pt100
接続方法	専用コネクタ、SM コネクタ
測定範囲	熱電対 K: -200~1370°C / T: -200~400°C 測温抵抗体 Pt100: -200~500°C
表示分解能	1°C: -200~1370°C、0.1°C: -99.9~199.9(手動設定)
精度定格	分解能 1°C時 ±(測定値の0.1%+1°C) 分解能 0.1°C時 熱電対 K、T: ±(測定値の0.1%+0.5°C) 測温抵抗体 Pt100: -99.9~-0.1°C: ±(測定値の0.1%+0.3°C) 0.0~199.9°C: ±(測定値の0.1%+0.2°C) <small>(ただし周囲温度 20~30°C、熱電対基準点補償精度含む)</small>
メモリー数	最大 20 データ
演算機能	最大、最小、平均、変化量
その他機能	ホールド、警報(任意の設定値を判別し、マーク表示) 安定判別(安定状態を判別し、マークを表示) 温度補正、電源オートオフ、時計表示
電源	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
電池寿命	1000 時間(バックライト非点灯時) 100 時間(バックライト点灯時) 周囲温度 25°C、連続測定時において
適応規格	CE マーキング
付属品	保護カバー、乾電池、取扱説明書

## 温度センサ(熱電対) 仕様

圧着形・YC510-01K (K 熱電対)	
測定範囲	Max. 500°C
応答時間	約 1.8 秒(150°Cアルミブロック表面 90%応答)

針状形・YC520-11K (K 熱電対)	
測定範囲	Max. 700°C
保護管	φ3.2×L150mm、SUS316
応答時間	1 秒以下(室温→攪拌水中 90%応答)

## 機器構成

製品名	定価
デジタルハンディ温度計 MC1000-000	¥ 21,800(税別)
圧着形温度センサ YC510-01K	¥ 12,000(税別)
針状形温度センサ YC520-11K	¥ 11,000(税別)

セット価格: ¥ 44,800 (税別)

※検査成績書やトレーサビリティ証明書も発行可能です。(別売)

## ■ 販売元

株式会社 手一

民生機器営業部

〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8

電話: 03-3956-2131・FAX: 03-3956-8767